

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	セントラル・パーク てんま		
○保護者評価実施期間	R 8年2月1日 ~ R 8年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	R 8年2月1日 ~ R 8年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達段階に応じた個別支援計画を作成し、放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援を実施している。	子どもの興味関心や特性を踏まえた活動プログラムを実施し、個々の発達段階に応じた支援を行っている。	支援内容を定期的に見直し、より個別性の高い支援プログラムの充実を図る。
2	保護者との情報共有や相談体制が整っており、安心して利用できる環境が整備されている。	日々の連絡や面談を通して子どもの様子を共有し、保護者との共通理解を図るよう努めている。	保護者とのコミュニケーション機会を継続し、家庭と連携した支援の充実を図る。
3	安全管理体制や環境整備が行われており、子どもが安心して過ごせる環境づくりができています。	事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアルの整備、避難訓練等を実施し、安全管理に努めている。	職員研修や安全確認の見直しを定期的に行い、安全管理体制の強化を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会が十分とは言えない。	利用時間や家庭状況が異なるため、交流機会を設けることが難しい場合がある。	保護者交流の機会や情報交換の場の設定を検討する。
2	地域交流の機会が限定的である。	安全面や子どもの特性を考慮する必要があるため、実施機会に限られる。	地域資源を活用した活動や交流機会の検討を行う。
3	家族支援（ペアレントトレーニング等）の機会が十分とは言えない。	実施時間や参加可能な保護者の調整が難しい。	情報提供やミニ講座等を通して家族支援の充実を図る。